



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロット」

株式会社ロッテ
2026年3月19日(木)

元プロテニスプレーヤー・男子テニス日本監督 添田 豪氏登壇！ 『噛む力をスポーツの力に』第6弾 噛むこと×テニス教室&トークショーを開催

添田氏と東京歯科大学の武田友孝氏が「噛むこととスポーツの大切さ」を小学生に伝える特別イベント！

株式会社ロッテ(東京都新宿区、代表取締役社長執行役員：中島英樹、以下 ロッテ)は、2026年3月15日(日)、株式会社LOCOK(本社：東京都港区 代表取締役 石井大貴、以下LOCOK)と共同で、『噛む力をスポーツの力に』第6弾「噛むこと×テニス教室&トークショー」を開催しました。元プロテニスプレーヤー・男子テニス日本監督 添田豪氏と東京歯科大学口腔健康科学講座 スポーツ歯学研究室 客員教授 武田友孝氏を招き、LOCOKウェルネスガーデン品川御殿山にて小学3～6年生の参加者12名を対象に、「噛むこととスポーツの大切さ」「噛むことがスポーツにもたらす良い影響」を伝えました。



イベント前半ではロッテから小学生を対象とした「噛むことクイズ」を実施し、「体力測定からみえる噛むこと」のスポーツ効果や噛むことに関する研究、貢献活動について説明しました。児童からは、「おすすめのガムはありますか？」「ガムはどのくらい噛み続けたらよいですか？」などの質問が飛び出し、噛むことの知識から実践に向けて興味を広げてくれた様子が見られました。続くトークショーでは、添田氏がスポーツパフォーマンスにおける噛むことのリラックス効果について語り、武田氏は、噛むことで脳が活性化され、迅速な判断や瞬発的な動きにつながることを具体的に解説しました。添田氏の噛む力を測定したところ、現役プロスポーツ選手並みの数値であったことを報告し、噛む力の強さに加え、左右均等に噛むことの重要性も伝えました。後半は同施設テニスコートへ移動し、添田氏指導のもと、ガムを噛みながらサーブやレシーブ、ラリーなどの練習に挑戦しました。添田氏は「厳しい練習を乗り越えて強くなしてほしい。とにかく続けることが大事。テニス教室、噛むことの話に気づきを得て、今後に取り入れてほしい」と熱いエールを送りました。児童からは「これからは噛むことを気にしてみようと思いました」「添田さんに教えてもらって嬉しかったです。ガムを噛みながら楽しく練習できました」といった感想が聞かれ、スポーツにおける「噛む力」の重要性を実体験できた貴重な機会となりました。

〈本取り組みで目指すもの〉

ロッテでは、サステナビリティビジョンである「ロッテミライチャレンジ2048」のマテリアリティ(重要課題)の1つに、「心身の健康」を挙げ、創業100周年(2048年度)には「ウェルビーイングに貢献する新たな製品、サービス、事業領域でしあわせな未来をつくる」を目標に掲げております。ビジョン達成のために歯科医師会や学会、イベントやセミナーを通じて、皆さまへガムを噛むことの大切さやキシリトール摂取の有用性を啓発しております。

ロッテは、「噛むこと」などの食と健康に関する知見やおいしさの技術を基盤に、新たな価値への挑戦を続けます。「噛むこと」が健康に与える良い影響についての研究や発信を行い、「噛むこと」の普及を通して人々の豊かな暮らしに貢献してまいります。



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロッテ」

〈元プロテニスプレーヤー・男子テニス日本監督 添田 豪氏〉



1984年神奈川県藤沢市出身。4歳からテニスを始め、藤沢翔陵高等学校卒業後、2003年にプロへ転向。
2008年、2009年全日本選手権男子シングルス優勝、2012年には世界ランキング最高47位を記録。
長年にわたり日本男子テニス界を牽引し続け、日本テニス史に残る輝かしい実績を数多く残した。
2022年に現役を引退し、2023年より男子テニスの国別対抗戦である「デビスカップ(Davis Cup)」日本代表監督に就任。現在はGODAI所属として、トップ・若手選手の指導や育成、テニスの普及活動にも積極的に取り組んでいる。



〈スポーツデンティスト 武田友孝客員教授〉



- ・東京歯科大学 口腔健康科学講座 スポーツ歯学研究室 客員教授(歯学博士)
- ・日本オリンピック委員会 強化スタッフ(医・科学)バレーボール競技
- ・日本レスリング協会スポーツ医科委員会
- ・全日本スキー連盟競技本部専門委員
- ・一般社団法人日本スポーツ歯科医学会副理事長・指導医
- ・日本臨床スポーツ医学会・理事
- ・公益財団法人日本歯科医師会スポーツ歯科委員会委員
- ・日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト協議会・副会長
- ・関東ラグビーフットボール協会登録者障害見舞金審査委員会委員
- ・東京都スポーツドクター連絡会(幹事)
- ・日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト
- ・日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ医



〈株式会社LOCOK〉



LOCOK(ロコック)は、Life Education Companyとして教育を通じ、あらゆる人々に無限の可能性を提供する会社です。(本社：東京都港区 代表取締役 石井 大貴)
主な事業として、つくし会幼児教室の運営、LOCOKウェルネスガーデン品川御殿山、LOCOKラーニングパーク晴海フラッグ・柏の葉の運営、ナニー(ベビーシッター)サービス、リーダーシップアカデミーなどの教育プロジェクトを行っています。
<https://www.locok.jp>

〈噛むスポプロジェクト〉



「噛むスポプロジェクト」は、ロッテが「噛むこと」の必要性や「噛むこと」がもたらすチカラを通じて社会に貢献したいという想いのもと、これまで培ってきた知見や研究を活かし、プロアスリートから子どもたちまで多くのスポーツを頑張る人のパフォーマンスを「噛むこと」を通じてサポートするプロジェクトです。「研究」「情報発信」「噛む力測定」「ガム提供」などの活動を通じ、「噛むこと」の重要性を普及してまいります。スポーツにおける「噛むこと」の重要性など、スポーツと「噛むこと」の関係性に関する情報発信を行い、日常から「噛むこと」やガムトレを取り入れていただくことで、一人でも多くの方のスポーツにおけるパフォーマンス向上を目指し、「噛むこと」によるサポートに注力しています。
<https://www.lotte.co.jp/kamukoto/kamusupo>

〈ロッテミライチャレンジ2048〉 心身の健康



ロッテは、パーパスである「独創的なアイデアとこころ動かす体験で人と人をつなぎ、しあわせな未来をつくる」に掲げる「しあわせな未来」を実現するため、創業100周年(2048年度)までのサステナビリティ目標「ロッテミライチャレンジ2048」を掲げました。
6つのマテリアリティ(重要課題)の1つに「心身の健康」を設定し、これまで培ってきた「噛むこと」などの食と健康に関する知見やおいしさの技術を基盤に新たな価値への挑戦を続け、人々のウェルビーイングに貢献します。